

講義名称	音楽表現 I	担当教員名	澤田 まゆみ
科目群	専門科目 (M) CA2・DI1・DI2		
科目区分等	保育の内容・方法に関する科目 (PM) 選択	単 位	1
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	CMPM1232

授業のキーワード	子どもの歌・オペレッタ・ピアノ
授業の概要	オリジナルな歌や台本を用いて、子どもの感性を養うための劇を創作します。ピアノの技術向上に加え、様々な楽器の扱いを知り、身の回りにある音にも着目しながら子どもの前に立つ保育者としての素養を身につけます。
期待される学習成果 (目標)	1. オペレッタの創作と実演を通して、子どもの前で歌ったり演じたりする表現力を身につけます。 2. 弾き歌いの技術を磨き、さまざまな音楽表現活動に活用できます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業概要、表現の基本と発展 (動きと歌)、子どもの歌の創作 (歌詞づくり)
2	子どもの音楽表現/子どもの歌の創作	キャラクターの表現/メロディーづくり
3	オペレッタ(1)/ピアノ(1)	物語と音(選曲と分担)/応用伴奏と弾き歌い(1)
4	オペレッタ(2)/子どもの歌の創作	台本作り /和声・伴奏づけ
5	打楽器と効果音(1)/ピアノ(2)	色々な打楽器の種類と打楽器を使つての効果音/応用伴奏と弾き歌い(2)
6	オペレッタ(3)/打楽器と効果音(2)	音づくり、演出の基礎(読み合わせ)/ファンタジーインストゥルメントによる様々な表現方法
7	オペレッタ(4)/ピアノ(3)	演出の展開(絵コンテ)/応用伴奏と弾き歌い(3)
8	オペレッタ(5)	発声とキャラクター、演出の発展(動きと音楽)
9	打楽器と効果音(3)/ピアノ(4)	台本に合わせた効果音の作り方と演奏法/応用伴奏と弾き歌い(4)
10	オペレッタ(6)	演出と照明、美術効果、発声技術と声の表現
11	オペレッタ(7)/ピアノ(5)	身体表現と音の関係/応用伴奏と弾き歌い(5)
12	オペレッタ(8)	空間の使い方と場面、展開の把握と子どもの動き
13	オペレッタ(9)/ピアノ(6)	発表に向けて/応用伴奏と弾き歌い(6)
14	オペレッタ(10)/ピアノ(7)	仕上げ・リハーサル/応用伴奏と弾き歌い(7)
15	オペレッタ(11)	発表とまとめ

定期試験	実施します(ピアノ実技)
授業時間外学習	第1回～第5回 子どもの歌の創作、台本づくり、ピアノでの演奏表現 第6回～第12回 演出と音づくり、ピアノでの演奏表現 第13回～第15回 発表準備・リハーサル、ピアノでの演奏表現
評価方法	オペレッタ60%、ピアノ40%
使用する教科書(必ず購入してください)	授業内で指示します。
参考文献	鈴木恵津子・富田英也「ポケットいっぱいのおうた」(教育芸術社) 日本基督教団讃美歌委員会編「こどもさんびか 改訂版」 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領